

音楽

—音楽科— 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する。

◎児童の状況

- 音楽活動の好きな児童が多く、明るく元気に歌ったり、曲想を感じ取って演奏したりしようと熱心に楽器の練習に取り組んでいます。
- 歌唱では、詞の内容が伝わるように美しい発音や口形に気を付け、心を込めて歌おうとする児童が増えています。
- 器楽では個人差も見られますが、友達と音を合わせて最後まで演奏しようと熱心に取り組んでいます。

◎指導についての課題

- 聴く力を身に付けるために、常時活動にリズム遊びを取り入れ、音楽を集中して聴くようにすること。
- 得意な活動だけではなく、苦手な活動にも進んで取り組み、少しずつ苦手意識を克服できるようにすること。
- 自分の表現に自信をもつことができるように小さな発表の場を設定し発表する経験を積み重ねていくこと。

◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、自分の思いを表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

低学年

- ・自分の声をよく聴いて歌えるようにする。
- ・リズム遊びをしたり、身近な楽器を演奏したりして音楽の楽しさを体得させる。
- ・鍵盤ハーモニカの個別指導を徹底する。

中学年

- ・発声や呼吸の仕方に気を付けて、響きのある声で歌えるようにする。
- ・器楽活動を通して友達と音を合わせて演奏することにより、演奏活動の楽しさを味わえるようにする。
- ・指揮活動を常時活動として取り入れ、拍感と共に人前で表現する力を身に付けるようにする。

高学年

- ・呼吸の仕方を工夫し、豊かな響きやハーモニーを感じながら歌うようにする。
- ・合奏では、各声部の役割や特徴を理解し、それらを生かした演奏ができるようにする。
- ・指揮活動を常時活動として取り入れ、拍感と共に人前で表現する力を身に付けるようにする。

◎言語活動の充実

- ・鑑賞の活動において、感じ取ったことを言葉で表すなどの活動を位置付け、楽曲や演奏のよさに気付いたり楽曲の特徴を理解したりする能力の育成を重視します。
- ・合唱や合奏、グループ活動において、どのように表現するか思いや意図を伝え合ったり、他者の考えに共感したりしながら、全員で一つの音楽をつくりあげていく活動を重視します。
- ・歌唱表現において、歌詞の内容や言葉の特徴を生かして歌ったり、日本語のもつ美しさを味わったりするなど、言語と音楽との関係を大切にしたい指導を重視します。

◎その他（補充・発展指導計画）

- 板橋のiカリキュラムの一つとして、地域社会と関わる学びを行います。
- ・第5・6学年で鼓笛隊の取り組みを行います。今年度は区民パレードは実施されませんが、運動会において演奏発表を行います。
- ・地域の伝統音楽（弥生囃子）に触れる授業を行います。第3学年が弥生囃子の演奏を聴き、実際に和太鼓の打ち方を教えていただく活動を行います。

